子どもたちの

「やってみたい！」が広がる 市内８つの 認定こども園

各園では、一人一人を大切にし、子どもたちが自分らしく育つことを願い、特色ある教育・保育を行っています。ここでは各園の子どもたちの姿や取り組みを紹介します。

市内８園の認定こども園についてはこちら▶

西脇こども園

すべての子どもたちの笑顔のために

「どんぐり　あった！」
身近な自然に触れ、おもしろさや不思議さに気付き、友達と伝え合っています。



比延こども園

人生の土台が育つ乳幼児期は「よく遊び　よく学べ」

「一緒に見よう」
「みんなで見ると楽しいね」
イメージを共有しながら、友達との関わりを楽しんでいます。



どれみこども園

がんばれることがきっと見つかる！

「私たちアイドル！」
「かわいいでしょ」
友達と一緒に自分なりに表現することを楽しんでいます。



日野こども園

興味や関心を大切にし感性豊かに表現できる子を育てる

「楽しい！」
つかんだり投げたりすることを繰り返しながら、いろいろな動きを楽しんでいます。



かすがこども園

ときめき★ひらめき！発見が生まれる

「はい　どうぞ」
「こぼさないようにね」
手や指を使った遊びを繰り返し楽しんでいます。



つまこども園

明るい声が響き笑顔あふれる楽しいこども園

「モンシロチョウさん元気でね。また来てね！」
身近な自然と関わる中で、命の尊さなどを感じています。



芳田こども園

感性の芽生えを大切に生きる力の基礎をはぐくむ

「ここに載ってるで」
「ほんまや」
共通の目的に向かって友達と協力し、認め合いながら遊びを楽しんでいます。



黒田庄こども園

いきいきと遊び・学び共に育ち笑顔のたえないこども園

「泥　気持ちいいよ」
「３歳児さんもおいで」
異年齢の子どもとの交流を通して思いやりの気持ちが育まれています。



はぴいくほっとステーション

市内の認定こども園では、通園児以外も子どもや子育てに関する悩みなどを相談できる「はぴいくほっとステーション」を開設しています。お気軽にご利用ください。

開設日時や連絡先などはこちら▶

子どもたちの

「やってみたい！」が育つまち

～子どもの育ちを支える、保育の現場と幼児教育センター～

芳田こども園が兵庫県の「創意工夫保育賞」を受賞しました。子どもたちの主体性を大切にした保育の取り組みが評価されたものです。園が積み重ねてきた工夫に加え、地域や関係機関も今回の受賞を支えました。市内８つの認定こども園では子どもたちの「やってみたい」を大切にしています。園の取り組みと西脇市の幼児教育を支える幼児教育センターの活動を紹介します。

▶問合せ　幼保連携課（市役所内線 1162）

芳田こども園　創意工夫保育賞（知事賞）を受賞



芳田こども園が「創意工夫保育賞」を受賞。子どもの豊かな育ちを支える特色ある保育を実践していることが高く評価されました。

評価された主な取り組み

○子どもたちが自ら考え、地域行事に主体的に参加する活動を推進
○芳田の里ふれあいフェスタでの染色作品の出品などを通じた地域交流
○自己表現を大切にし、異年齢の子ども同士や保護者、祖父母との交流を推進
○小学生との交流や園と小学校の先生との連携による円滑な小学校生活への接続

子どもたちの活動



芳田の里ふれあいフェスタ
色水遊びで「染まる」ことを発見！みんなに見てほしいとフェスタで出品。



押し花作り
草花で試行錯誤しながら押し花作り。フェスタでの販売に意欲満々！



異年齢交流（竹馬乗り）
５歳児が４歳児に寄り添い、竹馬の乗り方を工夫して教えています。



小学生との交流
芳田小学校５年生が４歳児との交流会でさまざまな遊びを教えてくれました。

Voice



芳田こども園は子どもたちが安心して過ごし、遊びや学びを通してのびのびと成長できる園です。

子どもたち一人一人の良さを認め、自信を持って成長できる保育を大切にしてきました。今回の受賞を励みに、これからも地域の皆さまとのつながりを大切にしながら、子どもたち一人一人の「やってみたい！」という気持ちを育み、それぞれの可能性を伸ばしていきたいと思います。

芳田こども園
園長　仲田保弘さん

幼児教育センターの活動

1 こども園を訪問し、先生と一緒に考える

センターの職員がこども園を訪問し、子どもたちが主体的に活動できる環境について、園の先生と一緒に考えています。



アドバイスの一例

物を取りに行くときに混雑し、トラブルが起きていたロッカーの位置を変更するよう助言



ロッカー付近が混雑し、子どもたちの間でトラブルが起きることも…



ロッカーの位置を見直し、子どもがスムーズに動ける配置に！

先生の声

子どもたちの動線が良くなり、自分で考えて行動する姿も増えています。



黒田庄こども園　中村紫先生

2 研修で先生たちも学び続ける

子どもの発達や年齢に応じた関わり方など、保育の実践につながる研修を企画・開催しています。先生たちはここで学んだことを日々の保育に生かしています。



3 こども園の学びを小学校につなぐ

園と小学校の先生が互いの保育や授業を見学し合うなど、それぞれの現場での子どもの様子や育ちを共有し、入学後の安心した生活や学びにつなげます。



4 専門家の視点で保育をより良く

大学教授や特別支援教育の専門家などの助言を受け、子どもの発達に合わせた遊びの環境づくりなどより良い保育につなげています。



だから、子育てに安心を！

こども園の先生だけでなく、幼児教育センターや小学校の先生ともしっかり連携。子ども一人一人の成長と「やってみたい！」を、まち全体で支えます。

8つの園を支えるまちの仕組み

西脇市の幼児教育、実はすごい!!

こども園では、子どもたちの「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、毎日先生たちが工夫を重ねています。

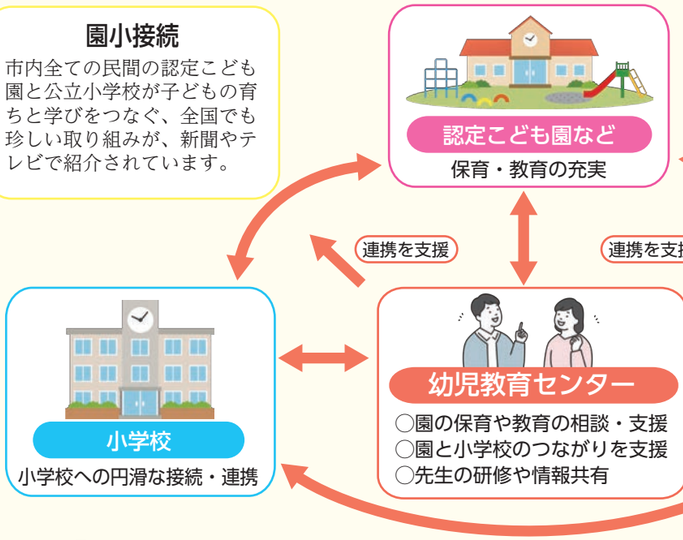
そうした取り組みを支えているのが、市の幼児教育センターです。こども園や小学校の裏方として、先生を支え、子どもたちの遊びや生活の中での学び、そして健やかな育ちを支えています。

幼児教育センターって？

認定こども園や小学校、関係機関と連携し、子どもたちの育ちと学びを支える幼児教育の拠点です。

園小接続

市内全ての民間の認定こども園と公立小学校が子どもの育ちと学びをつなぐ、全国でも珍しい取り組みが、新聞やテレビで紹介されています。



全国の市町村で幼児教育センターを設置しているところは

約15％

Voice



こども園を訪れると、子どもたちの楽しそうな声が聞こえてきます。私たちは、日々の保育を直接行う立場ではありませんが、先生が学び合い、質の高い保育が実践できるようにサポートしています。先生方と共に、子どもたちの豊かな経験と健やかな成長を支えていく役割を果たしていきます。

幼児教育センター
センター長　橋本恭代さん

私たちも一緒に子どもの成長をサポートしています！



幼児教育センターの職員

子どもの「考える・発見する楽しさ」を園で、家庭で

子どもは遊びを通してさまざまなことを学んでいます。

同じことを繰り返しているように見えても、「何でかな？」「おもしろい！」と発見を重ね、考える力を育んでいます。

園では　繰り返し遊べる環境を整え、一人一人の気付きや発見を大切にしています。

家庭では　子どもの疑問にすぐに答えを出さずに、「不思議だね」などと一緒に考え、発見する楽しさを味わいましょう。